



2016.11.15
国際玄制流空手道連盟武徳会
土佐樹彦会長と

朝霞市議会に 国旗・市旗の掲揚を。

市民の皆様への負託を受け、市議会議員として活動するようになってから、ずつと違和感がありました。現在、朝霞市議会には国旗も市旗も掲げられておりません。自国の国旗に敬意と誇りを持つ。他国を見渡せば当たり前のことが、我が朝霞市議会では当たり前ではなかったのでしょうか。国民市民のために議論をする議会であるからこそ、しっかりと掲げて欲しいと感じておりました。

平成 28 年 6 月、たはら亮が所属する会派「輝政会」から議会運営委員会へ提案しました。しかし、議論が深まらず結果として協議は取り下げに。そのような折、地元青年団で活躍する大切な仲間が、協議取り下げを憂い請願者として立ち上がってくれました。

たはら亮が自ら紹介議員となり、平成 28 年 12 月の第 4 回定例議会に、「朝霞市議会に国旗・市旗の掲揚を求める請願」を提出したことを報告します。

先人の思いを受け継ぎ、僕らの世代から輝く未来へとつなげられるよう、市議会に国旗・市旗掲揚実現に向けて邁進する所存です。

ちょっと一息。

平成28年12月3日、たはら亮が所属する一般社団法人朝霞青年会議所の納会&卒業式がありました。40歳までの青年会議所活動。不惑の40代に突入し、この度無事に卒業することができました。朝霞青年会議所を通じて、本当に多くの方と出会い、多くのことを学びました。すべての関係各位に心からの御礼を申し上げます。卒業スピーチの内容は、たはら亮公式Facebookにて紹介しております。ぜひそちらもご覧ください(^^)v

たはら亮 後援会 サポーター募集!

たはら亮後援会では、サポーターを募集しています。登録してくださいました方々へは、当レポートをはじめ後援会からの案内をお送りさせていただきます。たはら亮後援会公式ホームページお問い合わせフォームからの送信、またはこのコーナーに必要事項をご記載の上、**FAXにてお送りください!**

電話 048-465-8236 FAX 048-465-8237
メール info@ryo-tahara.jp 〒351-0005 朝霞市根岸台2丁目5番25号

お名前 _____ 住所 朝霞市 _____ 電話番号 _____

たはら亮 Report

Ryo-Tahara

vol.03



たはら亮がこの朝霞市議会において、市民の皆様への負託を頂戴してから、早いもので二年が経過しました。このレポートもなかなか発行が追い付かず恐縮ですが、この二年間を振り返り、市議会壇上において、またその他の市民活動について、一年間の成果をまとめます。

朝霞介護保険事業者協議会の請願を採択!

平成 28 年 9 月に行われました第 3 回定例議会において、たはら亮は来る介護保険制度改正に向けた、朝霞介護保険事業者協議会から出された請願の採択実現に全力で取り組みました。請願とは、市民の皆様が直接市政などに関して議会に要望できる制度で、政治に皆様の声を反映させる役割をもっています。



2016.8.23
朝霞介護保険事業者協議会
本田卓也会長、同僚の山下議員と共に

市議会の総意として国に意見書を提出するよう求めるもので、与野党問わず協力が得られるよう、請願者と何度も協議を重ね、関係各所に働きかけ、やっと実現した請願でした。採決結果も全会一致となり、朝霞市議会議長名で、内閣総理

介護保険制度における要介護軽度者への給付継続を求める意見書

長年、たはら亮がケアマネジャーとして共に汗を流してきました朝霞市介護保険事業者協議会。来る介護保険制度改正に向けて、要介護軽度者への給付継続を求める現場の切実な声です。

大臣・衆参議長・厚生労働大臣他関係省庁へ送付されましたことを報告します。

市議会の総意をまとめるということは本当に大変なことなのだと、改めて感じた次第です。たはら亮自身、今回は大変勉強になりました。真剣に審議くださいました同僚議員、そして関係各位に心から感謝を申し上げます。

市政報告会 開催

1月14日(土) 17:30より

東町内会館(根岸台市民センター2F)で行われます。(17:00~受付開始)

どなたでも是非! ご来場下さい!



たはら亮 Web site

たはら亮report バックナンバー公開中!!

QRコードで楽々アクセス!
<http://www.ryo-tahara.jp>

いいね!を宜しくお願いします!

いいね!



平成28年 3月 第1回 定例議会

1. 市制施行50周年に向けて

(1) 郷土愛醸成と東京オリンピック・パラリンピック大会

目前に控えた市制施行50周年は、半世紀に一度のチャンスです。また、東京オリンピック・パラリンピック大会へとつながる大きな節目でもあります。市に対する関心が薄い層にもしっかりPRし、市民の郷土愛を醸成する絶好の機会として、思い出に残る周年記念事業となるよう取り組んで欲しいと要望しました。

2. 公共交通について

(1) 市内循環バスの停留所増設

平成27年3月に「わくわく号」の運行見直し方針が示されました。中には、私の地元でもある根岸台・岡地域の根岸台線バス増設にも触れているものの、運行事業者の選定や国の事業認可など、全体として進めるとなると更に時間がかかります。できるところから着手するよう求めた結果、平成28年8月1日より前倒しでバス増設が実現しました。



3. 医療と介護の連携活性化について

(1) 行政が主導する朝霞独自の連携活性化

平成27年第4回定例議会の一般質問で答弁のありました「医療・介護関係者を対象とした情報交換会」について取り上げました。行政が主導する連携活性化の大きな一歩であり成果であると言えます。たはら亮自身、長年この朝霞の地で苦労した経験から、ぜひこの取り組みについては共に育てていきたいと考えております。

その他 請願第4号「安全保障関連2法の廃止を求める意見書の採択を求める請願」

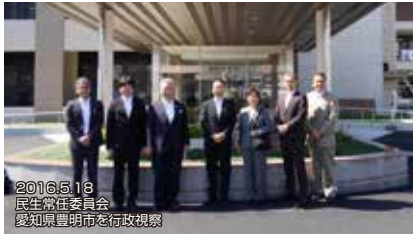
国際平和と我が国の安全、そして日本国民の命と暮らしを守るため、反対の立場で討論しました。日本共産党や一部野党の方々には、国民の不安を煽るようなレッテル貼りに終始した無責任さを指摘すると共に、我が国の安全保障に係る国際環境の激変から目を背けず、国民の生命と平和な暮らしをいかに守るかという本質的な議論を強く求めました。

平成28年 6月 第2回 定例議会

1. 子供を産み、育てやすいまちづくり

(1) 妊娠期から子育て期にわたる、切れ目のない支援体制構築について

大阪府枚方市「妊娠・出産包括支援事業」の行政視察を踏まえ、平成29年度から始まる「朝霞市子育て世代地域包括支援センター」における母子手帳交付の際の全数面接、そして産後ケア事業の実施について問いました。本市では訪問型アウトリーチ型の事業を実施していく方針ですが、宿泊型や日帰り型の産後ケア事業もぜひ実現するよう要望しました。



(2) 保育園における待機児童対策について

平成28年度の保育園等利用調整の段階から、入園保留者数の増加、特に1歳児の保留者数が200名を超えるなど、厳しい報告が相次ぎました。たはら亮の一般質問によって、平成29年度に新たな保育園を4か所260名分整備することが富岡市長より初めて示されました。同時に、受け皿確保のみならず、保育士等の確保をはじめとする対策強化も求めました。

2. 朝霞市における生涯学習の現状

(1) 放課後子供教室の運営について

青年会議所関係者の地方議員から成る「埼玉青志会」の例会で学んだ、久喜市における「放課後子供教室」の取り組みを参考に、我が朝霞市における現状と課題、特に地域住民の参画状況を踏まえた事業運営について問いました。市民の皆様の熱意、協力、そしてお互いが楽しくやりがいを持って取り組むことの延長に、新しいまちづくりがあると考えています。



市政壇上で訴え続けた
たはら亮が
朝霞に築く

(要約)

3本柱

安心して子供を育てられるまち、
子供達の生きる力を
育む教育を提案します。

安心して子供を育てられる
「まちづくり」

我がまち朝霞で安心して年を重ね、
暮らし続けることが
できるよう取り組みます。

年を重ねても安心して
暮らせる「まちづくり」

朝霞に住みたい！
住み続けたい！と思える、
誇れるまちを目指します。

我がまち朝霞を誇れる
「まちづくり」



市民の皆様に約束したこの3本柱を踏まえ、平成28年 全4回の定例議会を振り返ります。



平成28年 9月 第3回 定例議会

1. 朝霞市における介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 来年度実施に向けた準備状況と方向性について

なかなか情報が無いことで、地元事業者から不安の声が多く聞かれます。そのような中、どのような総合事業を展開していくか、地域の実情を踏まえて問いました。地域住民全体で「互助」を推進していくために必要なことを指摘すると共に、介護要望に積極的に取り組んでいる地元事業者や事業者団体との対話にも取り組んでいこう強く要望しました。

2. 朝霞市における障害者雇用及び企業支援

(1) 障害者雇用に関する取り組みと今後について

障害を持つ人が就労を希望している場合の支援体制、そして障害者雇用に積極的な一般企業や事業主に対する優遇措置等について問いました。本市では現在、企業等に対する優遇措置等はありません。障害者雇用に積極的に取り組む企業等が増え、たとえ障害があっても、社会の一員として働く喜びや生きがいを見出せるまちにしていけるよう、政策として企業等支援に取り組むことを提言しました。商工会会員の立場としても今後注視したいと考えております。



平成28年 12月 第4回 定例議会

1. 今後の市政運営

(1) アクションプランに基づく市政運営の成果と今後について

3期12年となる富岡市長の市政運営に対し、3期目に掲げた選挙公約でもある「アクションプラン」の成果に関する所感、そして市長としての任期満了を控え、4期目へ向けた決意を問いました。各新聞報道にもありました通り、たはら亮の質問に対して、4期目を目指す決意を公の場で初めて表明されました。富岡市長のご健闘をお祈り申し上げます。

2. 高齢者福祉と権利擁護事業

(1) 医療と介護の連携強化に関する取り組みについて

前回までに触れ続けてきた医療と介護の連携強化。改選後一年が経過しましたので、医療・介護連携推進事業の一環として定期的に開催してきた多職種による意見交換会について、介護事業者の声を紹介しながら実施状況を確認しました。医療と介護の円滑な連携こそが、市民の利益に直結すると考えております。

(2) 市民後見人の養成に関する現状と課題について

初めての議会で、市民後見人養成に関する取り組みから、サポート機関の強化、焦らずに進めていくこと、周辺四市で協力しながら広域的に対応する方法もあり得る、このような要望と提案を致しました。先進市である志木市、独自の取り組みとなる新座市、支援センターを立ち上げた和光市と、それぞれの特徴を生かし広域的に対応できるアイデアは無いのか、今後も調査研究しながら継続的に取り上げます。

その他 議員提出議案第5号「沖縄への新基地建設に対して県民の民意の尊重を求める意見書」

討論する予定はありませんでしたが、目に余る賛成討論に思わず手を挙げ反対討論を行いました。沖縄への新基地建設というのは事実ではなく、正しくは米軍普天間飛行場の辺野古移設です。沖縄にとって最重要な負担軽減の側面を故意に無視する言い回して、事実をすり替えたイデオロギー色の強い偏向用語に強く抗議し、反対の意を表明しました。

